

# 令和元年度 第1回モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会 技術セミナー

次世代自動車支援センター埼玉では、県内の自動車産業に関わる企業の技術開発力強化を支援するため、「モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会」を設置しています。同研究会では、最新の技術動向や業界の技術ニーズなどの情報共有の場として技術セミナーを開催しています。

今回は、『クルマのメガトレンド、電動化・電子化・つながる化を取り巻く現状』を研究会テーマとし、2名の講師を迎えて講演していただきます。

## 『クルマのメガトレンド、電動化・電子化・つながる化を取り巻く現状』

### 講演1

## 「自動車を取り巻く課題と対応」

ークルマを取り巻く市場と産業変化を2030年以降も見据えてー

株式会社本田技術研究所 デジタルソリューションセンター デジタルトランスフォーメーション推進室  
(自動車技術会 2050年の自動車社会検討特設委員会 委員長) シニアエキスパート 前田 義男 氏

#### <概要>

次世代の自動車業界を牽引する4大メガトレンドの「CASE」が進展しているが、本講演では、自動車メーカーから見た社会のニーズと市場の変化を説明する。主に電動化・つながる化による技術の展望と自動運転化がモビリティをどう進化させるか、また将来のエネルギー状況など、広範囲な産業変化を予測した解説を行なう。

#### <プロフィール>

1985年本田技術研究所に中途入社、主にエンジンの先行研究を担当。1997年Honda R&D Americas OHIO駐在、先進技術発掘、US向け新商品研究開発。2002年本田技術研究所栃木研究所、エンジン先行研究・長期技術戦略検討。2013年同和光研究所、エンジン先行研究戦略・産学共同プロジェクト。自動車技術会フェロー認定、2015年フェローエンジニア認定。2017年R&D-X、開発戦略室。2019年デジタルソリューションセンター、戦略企画。

### 講演2

## 「電動車両の普及と課題」

株式会社本田技術研究所 オートモビルセンター第5技術開発室 研究員 立川 広輔 氏

#### <概要>

昨今の環境問題や環境意識の高まり、また各国環境規制に対して、HEV、PHEV、BEV、FCVなどの電動車両の普及、拡大が望まれる。本講演では電動車両の普及、拡大のためのホンダの取り組みについて具体事例をもとに紹介し、あわせて将来の電動パワートレインの進化の方向性について論じる。

#### <プロフィール>

2006年本田技術研究所入社、FCX Clarity, Fit-EV, NSX, Acura MDX hybrid等の高圧バッテリーシステム開発に従事。2014年 Honda R&D Americas, Los Angeles center 駐在、北米パワートレイン戦略、双方向非接触充電等の先進研究に従事。2019年 本田技術研究所 帰任、バッテリー戦略を担当。

#### 日時

令和元年6月21日(金)  
13:30~16:00

#### 場所

新都心ビジネス交流プラザ 4階 会議室B  
埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2  
(JR埼京線 北与野駅前)

#### 参加費

自動車産業部会会員：無料  
公社会員：1,000円  
上記以外(一般)：2,000円

#### 問合せ

(公財)埼玉県産業振興公社 次世代自動車支援センター埼玉 IoT・技術支援グループ  
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-621-7051 FAX 048-857-3921  
URL <https://www.saitama-j.or.jp/jidosha/>

#### 申込先

ホームページからお申込みできます。 <https://www.saitama-j.or.jp/seminar/20190621jidosha/>  
(FAXの場合、裏面をご利用ください)



令和元年度 第1回モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会  
技術セミナー（6/21）参加申込書

企業名	所在地 〒	
TEL	FAX	
※下記の□に☑を付けてください。(分からない場合は「□不明」で結構です、こちらで確認いたします。)		
会員区分: □ 自動車産業部会会員(無料)、□ 公社会員(1,000円)、□ 非会員(2,000円)、□ 不明		
申込者1	所属	氏名: E-mail:
申込者2	所属	氏名: E-mail:
申込者3	所属	氏名: E-mail:
受講票等の発行は行いません。 当日は、本申込書またはお名刺をお持ちください。		